

200918001B

厚生労働科学研究研究費補助金
医療技術実用化総合研究事業

小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した
多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備

平成19～21年度 総合研究報告書

研究代表者 吉川 徳茂

平成22(2010)年 4月

目 次

I. 研究構成員	
II. 総合研究報告	
小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した 多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備	-----1
吉川徳茂	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----P1
IV. 研究成果の刊行物・別刷	-----P3
V. 資料	
1. 試験参加までの手順	-----S1
2. 研究実施計画書	-----S3
3. 使用薬剤添付文書	-----S60
4. 説明同意文書	-----S64
5. アセント文書（小児用説明文書・意思確認書）	-----S75
6. 症例登録票	-----S83
7. 治療経過報告書	-----S86
8. 試験中止緊急報告書	-----S118
9. 中止後追跡調査書	-----S119
10. 追跡調査書	-----S126
11. 有害事象緊急報告書	-----S136
12. 別紙（実施医療機関と研究責任医師）	-----S138
13. 症例管理台帳	-----S142
14. 有害事象共通用語規準	-----S143

I. 研究構成員

厚生労働科学研究費補助金（医療技術実用化総合研究事業）

「小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備」班

研究構成員

2010/2/1

			氏名	所属	役職	メールアドレス
主任研究者			吉川 徳茂	和歌山県立医科大学小児科	教授	nor i@wakayama-med. ac. jp
分担研究者			五十嵐 隆	東京大学小児科	教授	iga7400@mxq. mesh. ne. jp
分担研究者			飯島 一誠	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども発育学部門	特命教授	ii jima@med. kobe-u. ac. jp
分担研究者			本田 雅敬	都立清瀬小児病院	副院長	masahonda@amy. hi-ho. ne. jp
分担研究者			中村 秀文	国立成育医療センター治験管理室	室長	nakamura-hd@nchcd. go. jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	佐々木 聡	北海道大学病院小児科	講師	sasak002@med. hokudai. ac. jp
研究協力者	佐々木グループ	研究責任医師	山田 豊	函館中央病院小児科	副院長	shonika@rose. ocn. ne. jp
研究協力者	佐々木グループ	研究責任医師	永島 哲郎	釧路赤十字病院小児科	副院長	chosan@kushiro. jrc. or. jp
研究協力者	佐々木グループ	研究責任医師	内藤 広行	王子総合病院小児科	主任医長	naito-h@ojihosp. or. jp
研究協力者	佐々木グループ	研究責任医師	植竹 公明	帯広厚生病院小児科	部長	okh_i16a@octv. ne. jp
研究協力者	佐々木グループ	研究責任医師	斎田 吉伯	北見赤十字病院小児科	副部長	syounika_ikyoku@kitami. jrc. or. jp
研究協力者		研究責任医師	森本 哲司	東北大学病院小児科	助教	tmori@mail. tains. tohoku. ac. jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	池住 洋平	新潟大学医歯学総合病院小児科	講師	ikezumi@med. niigata-u. ac. jp
研究協力者	池住グループ	研究責任医師	柳原 俊雄	新潟県立吉田病院小児科	診療部長	yana@yhp-unet. ocn. ne. jp
研究協力者	池住グループ	研究責任医師	大久保総一郎	新潟済生会第二病院小児科	部長	okubo@ngt. saiseikai. or. jp
研究協力者	池住グループ	研究責任医師	渡辺 徹	新潟市民病院小児科	副部長	twata@hosp. niigata. niigata. jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	鈴木 順造	福島県立医科大学病態機能学領域	教授	jun@fmu. ac. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	鈴木 重雄	大原総合病院小児科		s_shigeo@nifty. com
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	弓削田英知	日赤福島病院小児科	科長	ikyoku10@fukushima-med-jrc. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	佐久間弘子	星総合病院小児科	科長	roko-pop@gaea. ocn. ne. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	佐藤 知子	寿泉堂総合病院小児科	科長	t. sato@jusendo. or. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	塚越 哲	公立岩瀬病院小児科	副院長	cabu1230@kcd. biglobe. ne. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	根本 健二	白河厚生総合病院小児科	科長	nemoken@fmu. ac. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	洪川 靖子	埼玉厚生病院小児科	医員	yshibu1975@yahoo. co. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	長澤 克俊	竹田総合病院小児科	科長	sp895xt9@trad. ocn. ne. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	片寄 雅彦	公立相馬総合病院小児科	科長	kmasa@fmu. ac. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	鈴木保志朗	磐城共立総合病院小児科	医員	hoshi@moon. email. ne. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	大西 周子	公立藤田総合病院小児科	科長	o-nrk@jg7. so-net. ne. jp
研究協力者	鈴木グループ	研究責任医師	高橋 亜依	南相馬市立総合病院小児科	科長	ai@fmu. ac. jp
研究協力者		研究責任医師	小林 靖明	足利赤十字病院小児科	部長	y. kobayashi@ashikaga. jrc. or. jp
研究協力者		研究責任医師	大和田葉子	獨協医科大学病院小児科	講師	y-ohwada@dokkyomed. ac. jp
研究協力者		研究責任医師	藤永周一郎	埼玉県立小児医療センター腎臓科	科長	f_shuich@d2. dion. ne. jp
研究協力者		研究責任医師	倉山 英昭	国立千葉東病院小児科	副院長	kurayamh@chibae. hosp. go. jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	粟津 緑	慶応大学小児科	講師	awazu@sc. itc. keio. ac. jp
研究協力者	粟津グループ	研究責任医師	高橋 弘剛	都立大塚病院小児科	部長	takahasi-o@ohsuka-hospital. toshima. tokyo. jp
研究協力者		研究責任医師	高橋 昌里	駿河台日本大学病院小児科	部長	shori@med. nihon-u. ac. jp
研究協力者		研究責任医師	服部 元史	東京女子医科大学腎臓小児科	教授	hattori@kc. twmu. ac. jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	亀井 宏一	国立成育医療センター	腎臓科	kamei-k@nchcd. go. jp

研究協力者	亀井グループ	研究責任医師	川野 豊	横浜市立みなと赤十字病院小児科	部長	kawanoyutaka@mbj.ocn.ne.jp
研究協力者	亀井グループ	研究責任医師	宮田 理英	東京北社会保険病院	小児科	r-miyata@tokyokita-jadecom.jp
研究協力者	亀井グループ	研究責任医師	太田 正康	取手協同病院小児科	部長	fuemiyasu@k7.dion.ne.jp
研究協力者	亀井グループ	研究責任医師	大森 多恵	都立墨東病院	小児科	QWTO4303@nifty.ne.jp
研究協力者	亀井グループ	研究責任医師	黒澤 信行	土浦協同病院小児科	医員	nbyk.1621@hotmail.co.jp
研究協力者	亀井グループ	研究責任医師	下田 益弘	武蔵野赤十字病院	小児科	shimoda@musashino.jrc.or.jp
研究協力者	亀井グループ	研究責任医師	土屋 史郎	草加市立病院	小児科	tsuchiya@fa.mbn.or.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	三浦 健一郎	東京大学医学部小児科	助教	miuped@yahoo.co.jp
研究協力者	三浦グループ	研究責任医師	生井 良幸	太田西の内病院小児科	部長	namai@ohta-hp.or.jp
研究協力者	三浦グループ	研究責任医師	稲富 淳	焼津市立総合病院小児科	医員	inachan-ky@umin.ac.jp
研究協力者	三浦グループ	研究責任医師	林 良樹	青梅市立病院小児科	部長	yhayashi@dk9.so-net.ne.jp
研究協力者	三浦グループ	研究責任医師	寺川 敏郎	都立府中病院小児科	医長	te10460@fuchu-hp.fuchu.tokyo.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	大友 義之	順天堂大学附属練馬病院小児科	専任准教授	kids.dr@d2.dion.ne.jp
研究協力者	大友グループ	研究責任医師	染谷朋之介	順天堂大学附属順天堂医院小児科	助教	t-some@med.juntendo.ac.jp
研究協力者	大友グループ	研究責任医師	有井 直人	順天堂大学附属静岡病院小児科	講師	n_arii@d1.dion.ne.jp
研究協力者	大友グループ	研究責任医師	大日方 薫	埼玉県越谷市立病院小児科	部長	pe001@mhp.koshigaya.saitama.jp
研究協力者	大友グループ	研究責任医師	大山 昇一	済生会川口総合病院小児科	部長	pediatr@saiseikai.gr.jp
研究協力者	大友グループ	研究責任医師	中島 泰子	東部地域病院小児科	医員	yasuko-k@zd5.so-net.ne.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	石倉 健司	清瀬小児病院腎臓内科	医長	kenzo@ii.e-mansion.com
研究協力者	石倉グループ	研究責任医師	松山 健	福生病院	副院長	matsuyama@fussahp.jp
研究協力者	石倉グループ	研究責任医師	番場 正博	横須賀共済病院	診療部長	masabamba@msn.com
研究協力者	石倉グループ	研究責任医師	荒木 清	埼玉社会保険病院	部長	
研究協力者	石倉グループ	研究責任医師	若木 均	横浜市民病院	医員	Hitoshiwakaki@aol.com
研究協力者	石倉グループ	研究責任医師	長 秀男	川崎市立川崎病院	部長	hcho@kmh.gr.jp
研究協力者	石倉グループ	研究責任医師	上牧 勇	国立埼玉病院	医長	ikami@wakho.hosp.go.jp
研究協力者		研究責任医師	伊藤 秀一	国立成育医療センター腎臓科	医長	ito-shu@ncchd.go.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	原田 知典	横浜市大市民総合医療センター		haradat@mbd.ocn.ne.jp
研究協力者	原田知典グループ	研究責任医師	中村 智子	小田原市立病院 小児科		tink524@abox4.so-net.ne.jp
研究協力者	原田知典グループ	研究責任医師	奥山 健一	神奈川県立足柄上病院		kaiseishonika@gmail.com
研究協力者	原田知典グループ	研究責任医師	小林 慈典	国立横浜医療センター		y-koba@wb3.so-net.ne.jp
研究協力者	原田知典グループ	研究責任医師	佐藤 厚夫	藤沢市民病院		satouatsuo@mac.com
研究協力者	原田知典グループ	研究責任医師	成相 昭吉	横浜南共済病院小児科	部長	ym-ped@seaple.icc.ne.jp
研究協力者	原田知典グループ	研究責任医師	後藤 晶子	済生会横浜市南部病院		
研究協力者		研究責任医師	新村 文男	東海大学医学部専門診療学系小児科	准教授	fumio@is.icc.u-tokai.ac.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	和田 尚弘	静岡県立こども病院腎臓内科	医長	nwada@sch.pref.shizuoka.jp
研究協力者	和田グループ	研究責任医師	白井 眞美	磐田市立総合病院小児科	部長	masami.shirai@nifty.com
研究協力者	和田グループ	研究責任医師	武藤 庫参	市立島田市民病院小児科	部長	kmutoh@municipal-hospital.shimada.shizuoka.jp
研究協力者	和田グループ	研究責任医師	池谷 健	藤枝市立総合病院	診療部長	ped@hospital.fujieda.shizuoka.jp
研究協力者	和田グループ	研究責任医師	宇佐美 等	沼津市立病院新生児科	部長	sq50103@shizuoka.qq-net.jp
研究協力者	和田グループ	研究責任医師	鶴田 悟	静岡市立静岡病院小児科	科長	crane-ind@umin.ac.jp
研究協力者	和田グループ	研究責任医師	水野 義仁	県西部浜松医療センター小児科	科長	mizuno-yoshihito@nifty.com
研究協力者	和田グループ	研究責任医師	深澤 ちえみ	富士宮市立病院小児科	科長	c.fukasawa@za.tnc.ne.jp
研究協力者		研究責任医師	都築 一夫	社会保険中京病院小児科	部長	kazuo_tsuzuki@chukyo-hosp.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	上村 治	あいち小児保健医療総合センター	内科部長	o_uemura@hkg.odn.ne.jp
研究協力者	上村グループ	研究責任医師	後藤 芳充	名古屋第二赤十字病院第三小児科	副部長	ygotoh@nagoya2.jrc.or.jp
研究協力者	上村グループ	研究責任医師	藤田 直也	聖隷浜松病院小児科	医長	fujita708@hkg.odn.ne.jp
研究協力者	上村グループ	研究責任医師	金原 有里	豊橋市民病院小児科	医師	parakiti@po4.so-net.ne.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	太田 和秀	国立金沢医療センター小児科	部長	kohta@kinbyou.hosp.go.jp
研究協力者	太田グループ	研究責任医師	清水 正樹	金沢大学医学部附属病院	助教	mshimizu@ped.m.kanazawa-u.ac.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	塚原 宏一	福井大学医学部附属病院小児科	副部長	htsuka@fmsrsa.fukui-med.ac.jp

研究協力者	塚原グループ	研究責任医師	森 夕起子	福井赤十字病院小児科	医員	shounika@fukui-med.jrc.or.jp
研究協力者	塚原グループ	研究責任医師	安藤 徹	市立敦賀病院小児科	部長	ts242048@ton21.ne.jp
研究協力者	塚原グループ	研究責任医師	芥川 宏	兵庫県立塚口病院小児科	部長	Hiroshi_Akutagawa@pref.hyogo.lg.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	澤井 俊宏	滋賀医科大学小児科	助教	sawai@belle.shiga-med.ac.jp
研究協力者	澤井グループ	研究責任医師	野村 康之	滋賀県立小児保健医療センター	非常勤医師	y-nomura@mx.biwa.ne.jp
研究協力者	澤井グループ	研究責任医師	岩井 勝	近江草津徳州会病院	部長	m-saru@rc4.so-net.ne.jp
研究協力者	澤井グループ	研究責任医師	成宮 成朗	長浜赤十字病院	部長	nikochn@hotmail.com
研究協力者	澤井グループ	研究責任医師	中嶋 敏宏	大津市民病院	部長	MXG01365@nifty.com
研究協力者	澤井グループ	研究責任医師	西澤嘉四郎	近江八幡市立総合医療センター	部長	nishizawa@kenkou1.com
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	西田真佐志	京都府立医科大学 小児内科	講師	mnishida@koto.kpu-m.ac.jp
研究協力者	西田グループ	研究責任医師	川勝 秀一	京都市立病院 小児科	部長	hkawakatu@hosp.city.kyoto.jp
研究協力者	西田グループ	研究責任医師	石田 宏之	松下記念病院 小児科	部長	ishida.hiroyuki002@jp.panasonic.com
研究協力者	西田グループ	研究責任医師	森本 佳子	社会保険京都病院 小児科	部長	yoshimor@leto.eonet.ne.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	芦田 明	大阪医科大学小児科	講師	ped006@poh.osaka-med.ac.jp
研究協力者	芦田グループ	研究責任医師	川村 尚久	大阪労災病院	副部長	k-crimson@orh.go.jp
研究協力者	芦田グループ	研究責任医師	田辺 卓也	市立枚方市民病院	主任部長	tanabemapa@pop01.odn.ne.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	中島 充	星ヶ丘厚生年金病院小児科	主任部長	jintarow@hoshigaoka-hp.com
研究協力者	中島グループ	研究責任医師	福田 和由	奈良県立医科大学附属病院小児科		kfukuda@naramed-u.ac.jp
研究協力者	中島グループ	研究責任医師	平 康二	県立奈良病院小児科	部長	pediatr@n3.kcn.ne.jp
研究協力者	中島グループ	研究責任医師	高塚 英雄	県立三室病院小児科	医長	mimurohp@viola.ocn.ne.jp
研究協力者	中島グループ	研究責任医師	鈴木 博	市立奈良病院小児科		penpens4@gmail.com
研究協力者	中島グループ	研究責任医師	木下 清二	東大阪市立総合病院小児科	主任部長	kinoshit@ari.bekkoame.ne.jp
研究協力者	中島グループ	研究責任医師	上田 卓	八尾市立病院小児科	部長	yao7017@city.yao.osaka.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	里村 憲一	大阪府立母子保健総合医療センター 腎・代謝科	主任部長	satomrak@mch.pref.osaka.jp
研究協力者	里村グループ	研究責任医師	松岡 太郎	市立豊中病院小児科	主任部長	tarochan@chp.toyonaka.osaka.jp
研究協力者	里村グループ	研究責任医師	田中 真也	兵庫県立西宮病院小児科		shinya-t@bca.bai.ne.jp
研究協力者	里村グループ	研究責任医師	田尻 仁	大阪府立急性期・総合医療センター小児科	主任部長	tajiriji@gh.pref.osaka.jp
研究協力者	里村グループ	研究責任医師	志水 信彦	市立堺病院小児科	部長	noshimizu-npr@umin.ac.jp
研究協力者	里村グループ	研究責任医師	松崎 香士	市立吹田市民病院小児科	主任部長	matsuzaki357@hotmail.co.jp
研究協力者	里村グループ	研究責任医師	山本 勝久	箕面市立病院		dr-katz@jt8.so-net.ne.jp
研究協力者		研究責任医師	金子 一成	関西医科大学小児科学講座	教授	kanekok@takii.kmu.ac.jp
研究協力者		研究責任医師	住本 真一	大阪赤十字病院 小児科	副部長	sumimoto@osaka-med.jrc.or.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	中西 浩一	和歌山県立医科大学小児科	講師	knakanis@wakayama-med.ac.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	飯塚 忠史	和歌山県立医科大学紀北分院小児科	院長	taizuka@wakayama-med.ac.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	大石 興	国保橋本市市民病院小児科	医長	sei-gen@river.sannet.ne.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	山家 宏宣	公立那賀病院小児科	科長	h-yamaga@naxnet.or.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	青柳 憲幸	和歌山労災病院小児科	第2小児科部長	nry-aoyagi@wakayamah.rofuku.go.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	吉田 晃	日赤和歌山医療センター第一小児科	副部長	jxmcy423@yahoo.co.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	重里 敏子	海南市民病院小児科	医長	jurimh@iris.eonet.ne.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	岩橋 誠司	国保日高総合病院小児科	部長	mag02745@nifty.ne.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	紀平 省悟	有田市立病院小児科	医長	skihira@wcsnet.or.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	宮脇 正和	社会保険紀南病院小児科	部長	miyawaki1@excite.co.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	眞砂 州宏	新宮市立医療センター小児科	部長	kmanago@hsp.shingu.wakayama.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	赤井美津代	阪南市立病院小児科	部長	akimitsu@ybb.ne.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	宮下 律子	泉大津市立病院小児科	副院長	m_director@hosp-ozu-osaka.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	西野 昌光	高槻病院小児科	小児科部長	m-nishino@ajk.takatsuki-hp.or.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	秦 大資	北野病院小児科	部長	shomu@kitano-hp.or.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	後藤 幹生	岸和田市民病院	部長	mikio@g.email.ne.jp
研究協力者	中西グループ	研究責任医師	港 敏則	公立豊岡病院小児科		to-minato@ares.eonet.ne.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	貝藤 裕史	神戸大学大学院内科系研究科小児科	助教	hkaitoh@med.kobe-u.ac.jp

研究協力者	貝藤グループ	研究責任医師	太田 國隆	六甲アイランド病院	医長	ped_sanda@hotmail.com
研究協力者	貝藤グループ	研究責任医師	木花 咲子	小野市民病院	医長	konosaku39@yahoo.co.jp
研究協力者	貝藤グループ	研究責任医師	神岡 一郎	加古川市民病院	医長	ichirok@estate.ocn.ne.jp
研究協力者	貝藤グループ	研究責任医師	山根 正之	済生会兵庫県病院	医長	genzou@db3.so-net.ne.jp
研究協力者		研究責任医師	田中亮二郎	兵庫県立こども病院腎臓内科	部長	ryojiro@sannet.ne.jp
研究協力者		研究責任医師	浜平 陽史	姫路赤十字病院第一小児科	副部長	hamahira68@hotmail.com
研究協力者		研究責任医師	桑門 克治	倉敷中央病院	部長	kk7898@kchnet.or.jp
研究協力者		研究責任医師	香美 祥二	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部発生発達医学講座分野小児医学分野	教授	kagami@clin.med.tokushima-u.ac.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	伊藤 雄平	久留米大学医療センター	教授	yuheito@med.kurume-u.ac.jp
研究協力者	伊藤雄平グループ	研究責任医師	市川光太郎	北九州市立八幡病院小児科	副院長	ichiqq@yahoo.co.jp
研究協力者	伊藤雄平グループ	研究責任医師	村上義比古	大牟田市立総合病院	部長	syonika03@ghp.omuta.fukuoka.jp
研究協力者	伊藤雄平グループ	研究責任医師	岩本 二郎	飯塚病院	小児センター長	jiwamotohi@aih-net.com
研究協力者	伊藤雄平グループ	研究責任医師	西山 亨	済生会日田病院小児科	部長	toolu333@saiseikai.hita.oita.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	郭 義胤	福岡市立こども病院・感染症センター 腎疾患科	部長	y_kaku@nifty.com
研究協力者	郭グループ	研究責任医師	堤 康	九州大学病院小児科	助手	tsu-tsum@pediatr.med.kyushu-u.ac.jp
研究協力者	郭グループ	研究責任医師	兼光 聡美	国家公務員共済組合連合会 千早病院小児科	部長	satomi@pediatr.med.kyushu-u.ac.jp
研究協力者	郭グループ	研究責任医師	亀崎健太郎	国立小倉病院小児科	医長	bowiee@mvf.biglobe.ne.jp
研究協力者		研究責任医師	波多江 健	福岡赤十字病院第2小児科	部長	hatae.k@fukuoka-med.jrc.or.jp
研究協力者	グループリーダー	研究責任医師	大塚 泰史	佐賀大学医学部附属病院	医員	ootsuka2@yahoo.co.jp
研究協力者	大塚グループ	研究責任医師	市丸 智浩	佐賀県立病院好生館小児科	部長	ichimaru-t@koseikan.jp
研究協力者	大塚グループ	研究責任医師	高柳 俊光	国立佐賀病院	第一診療部長	toshi-t@po.bunbun.ne.jp
研究協力者	大塚グループ	研究責任医師	佐藤 忠司	国立嬉野医療センター小児科	医長	satot@uresino.go.jp
研究協力者	大塚グループ	研究責任医師	野原 薫	唐津赤十字病院小児科	部長	nohara@mailserver.med.kyushu-u.ac.jp
研究協力者	大塚グループ	研究責任医師	力武 典子	佐賀社会保険病院小児科	部長	sagasb@po.bunbun.ne.jp
研究協力者		研究責任医師	仲里 仁史	熊本大学附属病院	講師	hnakazat@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp
研究協力者		研究責任医師	古瀬 昭夫	熊本赤十字病院小児科		a-furuse@kb4.so-net.ne.jp
研究協力者		研究責任医師	島子 敦史	鹿児島市立病院小児科	医師	scotch@ruby.ocn.ne.jp
研究協力者	病理		長田 道夫	筑波大学大学院人間総合科学研究科医学系分子病理	教授	nagatam@md.tsukuba.ac.jp
研究協力者	内科		川村 哲也	東京慈恵会医科大学附属第三病院	准教授	kawatetu@coral.ocn.ne.jp
研究協力者	事務局		中西 浩一	和歌山県立医科大学小児科	講師	knakanis@wakayama-med.ac.jp
研究協力者	事務局		佐古まゆみ	成育医療センター	研究員	sako-m@ncchd.go.jp
データセンター			大橋 靖雄	NPO日本臨床研究支援ユニット	理事長	ohashi@epistat.m.u-tokyo.ac.jp
データセンター			塚田 暁子	NPO日本臨床研究支援ユニット		tsukada@crsu.org
会計責任者			山本 誠之	和歌山県立医科大学企画課	主任	y-seishi@wakayama-med.ac.jp
研究班事務			佐貴 礼子	和歌山県立医科大学小児科教授室		jskdc@wakayama-med.ac.jp

			福井 直仁	JSKDCデータセンター NPO法人日本臨床研究支援ユニット データセンター		fukui@crsu.org
--	--	--	-------	--	--	----------------

II. 総合研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（医療技術実用化総合研究事業）
総合研究報告書

小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した多施設共同臨床研究と
拡大臨床試験体制整備

研究代表者 吉川徳茂 和歌山県立医科大学小児科教授

研究要旨

本研究では、小児ステロイド感受性ネフローゼ症候群に対する初期治療法のエビデンスを確立するために、プレドニゾン2ヶ月（国際法）と6ヶ月（長期法）投与の多施設共同ランダム化比較試験を実施している。

初発時の小児ネフローゼ症候群患者の多くは、腎臓専門医でない一般小児科医により治療されるため、一般小児科医も参加した拡大臨床試験ネットワークの構築が必要である。

平成19年度（初年度）は、研究実施計画書等は完成していたので、各施設の倫理委員会の承認を得て、9月より試験を開始した。

平成20年度（2年目）は、試験を継続し、10月には登録患者の適格性や有害事象の発生に関してセントラルモニタリングを実施した

平成21年度（3年目）：12月31日現在、登録症例数は188例になり順調に進行している。登録症例数が250例に近づいた時点で、有効性と安全性について中間解析を行う予定である。9月に実施したセントラルモニタリングの結果、的確に安全管理された質の高い臨床試験であることが明らかになった。

本研究は当初計画どおり順調にすすんでおり、的確に安全管理された質の高い臨床試験である。

分担研究者

五十嵐隆
東京大学医学部小児科教授
本田雅敬
東京都立清瀬小児病院副院長
飯島一誠
国立成育医療センター腎臓科医長
中村秀文
国立成育医療センター治験管理室長

ンされた十分に有効なランダム化比較試験が必要である」と述べている。

わが国の国際法の成績は、海外の国際法より良く、長期投与方法とも遜色なく、日本人患者では国際法は長期投与方法と同等の有効性がある可能性がある。

本研究では、小児ステロイド感受性ネフローゼ症候群に対する初期治療法のエビデンスを確立するために、プレドニゾン2ヶ月（国際法）と6ヶ月（長期法）投与の多施設共同ランダム化比較試験を実施する。

初発時の小児ネフローゼ症候群患者の多くは、腎臓専門医でない一般小児科医により治療されるため、一般小児科医も参加した拡大臨床試験ネットワークの構築が必要である。一般小児科医の臨床試験への参加は、EBMの浸透と普及に貢献し、小児腎臓病患者に対する治療の均霑化と医療レベルの向上にも貢献すると考えられる。

A. 研究目的

小児ネフローゼ症候群の初期治療として、1960年代に国際小児腎臓病研究班が合意提唱した2ヶ月のプレドニゾン治療（国際法）が広く行われてきたが、再発が多く、ステロイドの長期投与が行われている。しかし、長期投与による副作用は大きな問題であり、コクランレビューも「適切にデザイ

研究者は平成15年度から臨床研究を推進し、小児腎臓病領域における質の高いエビデンス収集のための臨床試験ネットワークを構築し、質の高い臨床試験を実施している。本研究ではそのノウハウを小児腎疾患拡大臨床試験ネットワークの構築に活用する。

B. 研究方法

本研究では仮説「小児ネフローゼ症候群の初期治療として、再発と副作用の面から、国際小児腎臓病研究班の提唱した2ヶ月のプレドニゾン投与が妥当である」のもとに、わが国の初期治療状況から、プレドニゾン2ヶ月と6ヶ月投与の比較試験を実施する。

1. 課題名：初発小児特発性ネフローゼ症候群患者を対象としたプレドニゾン国際法（2ヶ月投与）と長期投与方法（6ヶ月投与）の有効性と安全性の多施設共同オープンランダム化比較試験

2. 治療計画：登録された患者は以下の試験治療がおこなわれる（図1）。

A. 短期投与群：プレドニゾン2ヶ月投与（国際法）

60 mg/m²/日4週間、

40 mg/m²/2日4週間

B. 長期投与群：プレドニゾン6ヶ月投与

60 mg/m²/日4週間、

60 mg/m²/2日4週間、

45 mg/m²/2日4週間、

30 mg/m²/2日4週間、

15 mg/m²/2日4週間

7.5 mg/m²/2日4週間

3. 対象：1-15歳のネフローゼ症候群初発症例で治療開始3週間以内にステロイド感受性とした患者

4. 有効性評価項目

主要評価項目：頻回再発までの期間

副次的評価項目：無再発期間、再発率、ステロイド総投与量、有害事象発現割合

ステロイド感受性ネフローゼ症候群の初期治療の目的は、頻回再発への移行を回避することにより、主要評価項目を頻回再

発までの期間とした。

5. 目標患者数：各群125例、計250例

国際法が長期投与方法に対して、主要評価項目について非劣性であることを検証するために必要な症例数は、申請者らが実施した柴苓湯併用下のランダム化比較試験（日腎誌1998）の結果を元に設計した。ハザード比のマージンを1.3とし、ハザード比=1を有意水準片側5%、検出力80%で検証するには、両群合わせて250例が必要である。

6. 中間解析：試験開始後1年ごとに、主要評価項目と安全性評価項目に関する中間解析を行う。

7. 参加施設数：159施設

（倫理面への配慮）

各研究施設の倫理委員会の承認を得てから施行する。特に以下の点に配慮して研究を行う。

I. 研究等の対象となる個人の人権の擁護：本研究の結果を医学雑誌等に発表する場合、患者名の暗号化を行うなどプライバシー保護には十分な留意を行い、各患者個人の結果に関しては一切公表しない。また、同意による研究開始後も患者自らの意志により研究を中止することは可能であり、研究中止後も患者個人に対し一切の不利益を生じないように努める。

II. 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法：患者さんへの「治療研究についての説明書」を用いて説明を行い、書面にて同意を得ることにより統一された説明の施行と同意の承諾に努める。また保護者のみならず可能な限り患者本人にも説明を行い、ICH E-11 及びヘルシンキ宣言に則りインフォームドアセント（口頭又は文書）の取得も行う。

III. 研究等により生じる個人への不利益並びに危険性：治療中は定期的に腎機能、健康状態等必要な検査を行い、担当医師も副作用には十分注意をし、より細やかな対応を図ることにより事前に危険性を察知することに努め、患者個人に対し不利益や危険

が生じないように努める。不利益や危険が生じた場合、早期に研究を中断し、不利益や危険に対処を行う。重篤な有害事象の発生時は、直ちに主任研究者、分担研究者に報告しその評価を行い、試験の中止を含めた対応を検討し、必要であれば家族に対する説明も行う。

C. 結果と考察

本研究では症例数の確保が重要課題である。症例数確保のために、一般小児科医も参加した拡大臨床試験ネットワークを構築し、参加施設を当初計画の60施設から159施設にふやした。その結果年間100例の患者登録が見込まれるが、症例数確保に3年、試験期間が2年のため試験完了までに5年は必要である。

平成19年度（初年度）：研究実施計画書等は完成していたので、5月に第1回班会議を開催し、研究計画等を説明した。各施設の倫理委員会の承認を得て、9月より試験を開始した。症例数を確保するために、参加施設を当初計画の60施設から159施設にふやした。

平成20年度（2年目）：試験を継続した。4月に実施したアンケート調査では、一般小児科医による、患者の本研究参加への、同意取得率は約50%と高く（通常は30%位）専門医による取得率と同程度であった。

平成21年度（3年目）：12月31日までに、139施設で倫理委員会の承認を得、188例が試験を開始している。9月には登録患者の適格性や有害事象の発生に関してセントラルモニタリングを実施した。平成19年9月から登録を開始し163例の登録があった（国際法82例、長期法81例）。不適格症例の登録は0例であった。プロトコル治療中患者数は119例、プロトコル治療中止患者数は42例、登録後除外患者数2例であった。プロトコル治療中止患者42例中、31例は試験治療中の頻回再発（主要評価項目は頻回再発までの期間）によるもの、3例はステロイド抵抗性によるもの、6例は患者からの試験治療中止の申し出によるものであった。有害事象をきたした患者数は62例（38%）で、2例で高度

のGPT上昇を認めたが、他の症例の有害事象は軽度又は中等度であった。有害事象緊急報告が1例あったが、原疾患（ネフローゼ症候群）の再発に伴う症状と考えられ、試験薬（プレドニゾロン）や試験によるものとは考えられなかった。プロトコル逸脱患者が3例あった。

D. 結論

本研究は当初計画どおり順調にすすんでおり、的確に安全管理された質の高い臨床試験である。

E. 健康危険情報 特になし

F. 研究発表

1. 論文発表

（研究代表者：吉川徳茂）

Shima Y, Nakanishi K, Togawa H, Obana M, Sako M, Miyawaki M, Nozu K, Iijima K, Yoshikawa N. Membranous nephropathy associated with thyroid-peroxidase antigen. *Pediatr Nephrol*, 24:605-608, 2009

Nakanishi K, Iijima K, Ishikura K, Hataya H, Awazu M, Sako M, Honda, Yoshikawa N. for the Japanese Pediatric IgA Nephropathy Treatment Study Group.

Efficacy and safety of lisinopril for mild childhood IgA nephropathy: a pilot study. *Pediatr Nephrol*, 24:845-849, 2009
Togawa H, Nakanishi K, Shima Y, Obana M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N. Increased chymase-positive mast cells in children with crescentic glomerulonephritis. *Pediatr Nephrol*, 24:1071-1075, 2009

Cattran. D. C, Coppo. R, Yoshikawa. N, et al. The Oxford classification of IgA nephropathy: rationale, clinicopathological correlations, and classification. *Kidney Int* 76:534-545, 2009

Roberts. S. D, Cook. H. T, Yoshikawa. N, et al. The Oxford classification of IgA

- nephropathy: pathology definitions, correlations, and reproducibility. *Kidney Int*, 76:546-556, 2009
- Nozu K, Iijima K, Kawai K, Nozu Y, Nishuda A, Takeshima Y, Fu X J, Hashimura Y, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M. In vivo and in vitro splicing assay of SLC12A1 in an antenatal salt-losing tubulopathy patient with an intronic mutation. Springer. Published online: 10 June 2009
- Nakanishi K, Yoshikawa N. Immunoglobulin a Nephropathy. In "Pediatric Nephrology 6th edition" (Ed.) Avner ED, Harmon WE, Niaudet P, Yoshikawa N, pp 758-781, Springer, Berlin Heidelberg, 2009
- Hamasaki Y, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ishikura K, Yata N, Kaneko T, Honda M; Japanese Study Group of Renal Disease. Cyclosporine and steroid therapy in children with steroid-resistant nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*. 24(11):2177-2185, 2009
- Nozu K, Krol RP, Nakanishi K, Yoshikawa N, Nozu Y, Ohtsuka Y, Iijima K, Matsuo M: Detection by multiplex ligation-dependent probe amplification of large deletion mutations in the COL4A5 gene in female patients with Alport syndrome. *Pediatr Nephrol*. 24(9):1773-1774, 2009
- Hashimura Y, Nozu K, Kanegane H, Miyawaki T, Hayakawa A, Yoshikawa N, Nakanishi K, Takemoto M, Iijima K, Matsuo M: Minimal change nephrotic syndrome associated with immune dysregulation, polyendocrinopathy, enteropathy, X-linked syndrome. *Pediatr Nephrol*. 24(6):1181-1186, 2009,
- Nozu K, Iijima K, Nozu Y, Ikegami E, Imai T, Fu XJ, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M. A deep intronic mutation in the SLC12A3 gene leads to Gitelman syndrome. *Pediatr Res*. 66(5):590-593, 2009
- 吉川徳茂: 小児ネフローゼ症候群, 今日の治療方針—私はこう治療している 2009: 1029-1030, 医学書院, 東京, 2009
- 吉川徳茂: 小児ネフローゼ症候群治療ガイドライン. *Annual Review 腎臓* 2009: 251-257, 中外医学社, 東京, 2009
- 吉川徳茂, 中西浩一, 伊藤秀一, 関根孝司: CKD 診療ガイド. *小児内科* 41: 203-206, 東京医学社, 東京, 2009
- 中西浩一, 吉川徳茂: ACEI/ARB/抗アルドステロン薬—腎保護を目的に. *小児内科* 41: 266-269, 東京医学社, 東京, 2009
- 中西浩一, 吉川徳茂: 多発性嚢胞腎. *小児内科* 40: 887-891, 東京医学社, 東京, 2008
- 吉川徳茂: エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2009, 日本腎臓学会編集. 学術委員会副委員長, 東京医学社, 東京, 2009
- 中西浩一, 吉川徳茂: 小児科領域の RPGN, *日腎会誌* 51 (2) : 102-106, 日本腎臓学会, 東京, 2009
- 吉川徳茂: 総説 エビデンスに基づく小児 IgA 腎症治療, *日本小児科学会雑誌* 113 (8) : 1205-1211, 日本小児科学会, 東京, 2009
- 吉川徳茂: 急性進行性糸球体腎炎, 初学者から専門医までの腎臓学入門改訂第 2 版, 東京医学社, 東京, 2009
- 中西浩一, 吉川徳茂: FSGS の移植と再発治療 FSGS の基礎と臨床. *日本小児腎不全学会雑誌* 27(8), 17-18, 2007
- 中西浩一, 吉川徳茂: 血清クレアチニン値・尿素窒素の異常[小児] 腎・泌尿器疾患診療マニュアル 小児から成人まで 生涯教育シリーズ 73 日本医師会雑誌特別号, 136(S2), S80-S81, 2007
- 中西浩一, 吉川徳茂: 髄質嚢胞腎 腎・泌尿器疾患診療マニュアル 小児から成人まで 生涯教育シリーズ 73 日本医師会雑誌特別号 136(S2), S264-S265, 2007
- 中西浩一, 吉川徳茂: ARPKD. "Annual Review 腎臓 2007" 御手洗哲也, 東原英二, 秋澤忠男, 五十嵐隆, 金井好克編, pp233-240, 中外医学社, 東京, 2007
- 中西浩一, 吉川徳茂: 腎・尿路疾患-ABC と新たな展開 III. 腎炎の病態と治療: IgA 腎症 *小児科診療* 71(2), 233-238, 2008

- 中西浩一, 吉川徳茂: 急性糸球体腎炎. 講義録小児科学 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直実, 竹村司編, pp627-629, メジカルビュー社, 東京, 2008
- 中西浩一, 吉川徳茂: 紫斑病性腎炎. 講義録小児科学 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直実, 竹村司編, pp630-635, メジカルビュー社, 東京, 2008
- 中西浩一, 吉川徳茂: IgA 腎症, 非 IgA 型腎症. 講義録小児科学 佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直実, 竹村司編, pp633-632, メジカルビュー社, 東京, 2008,
- 中西浩一, 吉川徳茂: 小児科診療に強くなる! 知ってほしい診断のポイントとコツ 腎尿路疾患 知識を整理しよう 内科 104(4), 740-745, 2009
- 中西浩一, 吉川徳茂: ネフローゼ症候群. 小児科疾患アルゴリズム 市川光太郎編, 2009, pp68-69, 中山書店, 東京
- 吉川徳茂: 専門医のための腎臓病学 メサングウム増殖性糸球体腎炎 IgA 腎症 小児科の視点、監修 下条文武, 2009, pp330-332, 医学書院, 東京
- Nozu K, Inagaki T, Fu XZ, Nozu Y, Kaito H, Kanda K, Sekine T, Igarashi I, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. Molecular analysis of digenic inheritance in Bartter syndrome with sensorineural deafness. J Med Genet. 45:182-186, 2008
- Yoshikawa N, Nakanishi K, Ishikura K, Hataya H, Iijima K, Honda M. Combination therapy with mizoribine for severe childhood IgA nephropathy : a pilot study:Pediatric Nephrol. 23:757-763, 2008
- Ishikura K, Ikeda M, Hattori S, Yoshikawa N, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Yata N, Honda M. Effective and safe treatment with cyclosporine in nephrotic children: a prospective, randomized multicenter trial. Kidney Int. 73:1167-1173, 2008
- Yata N, Nakanishi K, Shima Y, Togawa H, Obana M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N. Improved renal survival in Japanese children with IgA nephropathy. Pediatr Nephrol, 23:905- 912, 2008
- Nozu K, Przybyslaw Krol R, Ohtsuka Y, Nakanishi K, Yoshikawa N, Nozu Y, Kaito H, Kanda K, Hashimura Y, Hamasaki Y, Iijima K, Matsuo M. Detection of large deletion mutations in the COL4A5 gene of female Alport syndrome patients. Pediatr Nephrol, 23: 2085-90, 2008
- Krol RP, Nozu K, Nakanishi K, Iijima K, Takeshima Y, Fu XJ, Nozu Y, Kaito H, Kanda K, Matsuo M, Yoshikawa N. Somatic mosaicism for a mutation of the COL4A5 gene is a cause of mild phenotype male Alport syndrome. Nephrol Dial Transplant, 23: 2525-30, 2008
- Nakanishi K, Iijima K, Ishikura K, Hataya H, Awazu M, Sako M, Honda, Yoshikawa N. for the Japanese Pediatric IgA Nephropathy Treatment Study Group. Efficacy and safety of lisinopril for mild childhood IgA nephropathy: a pilot study. Pediatr Nephrol, 2008, In Press.
- Shima Y, Nakanishi K, Togawa H, Obana M, Sako M, Miyawaki M, Nozu K, Iijima K, Yoshikawa N. Membranous nephropathy associated with thyroid-peroxidase antigen. Pediatr Nephrol, 2008, In Press.
- Togawa H, Nakanishi K, Shima Y, Obana M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N. Increased chymase-positive mast cells in children with crescentic glomerulonephritis. Pediatr Nephrol, 2008, In Press.
- 吉川徳茂: Alport 症候群. “腎疾患・透析 最新の治療 2008-2010”, 飯野靖彦, 榎野博史, 秋澤忠男編, 2008, pp233-236, 南江堂, 東京
- 吉川徳茂: 小児 IgA 腎症の治療とその成績. 小児科, 2008, 49 : 67-74, 金原出版株式会社, 東京
- 吉川徳茂: 特集 IgA 腎症の最近の進歩 小児 IgA 腎症に対する治療. 腎と透析, 2008, 64 : 99-103, 東京医学社
- 吉川徳茂, 五十嵐隆, 石倉健司, 郭義胤, 仲里仁史, 亀井宏一, 川村哲也, 中村秀文, 山

- 本有佳里, 中西浩一, 佐古まゆみ: 小児 IgA 腎症治療ガイドライン1.0版 日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会「小児 IgA 腎症治療ガイドライン作成委員会」. 日本腎臓学会誌, 2008, 50:31-41, 東京
- 中西浩一, 吉川徳茂: 特集腎・尿路疾患- ABC と新たな展開 III. 腎炎の病態と治療 慢性腎炎の病態と治療: IgA 腎症. 小児科診療 71: 233-238, 診断と治療社, 東京, 2008
- 吉川徳茂: 糸球体腎炎. 小児科学第3版: 1412-1419, 医学書院, 東京, 2008
- 佐古まゆみ, 吉川徳茂: 溶連菌感染後急性糸球体腎炎—溶連菌感染後急性糸球体腎炎の発症頻度は変化しているのでしょうか?. EBM 腎臓病の治療 2008-2009: 40-44, 中外医学社, 東京, 2008
- 吉川徳茂: 小児 IgA 腎症の治療. 日本腎臓学会誌 50 (4): 468-472, 東京, 2008
- 吉川徳茂, 中西浩一: IgA 腎症, 増殖性糸球体腎炎. 小児内科 40: 839-844, 東京医学社, 東京, 2008
- Kamioka I, Nozu K, Fujita T, Kaito H, Tanaka R, Yoshiya K, Iijima K, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M. Prognosis and pathological characteristics of five children with non-Shiga toxin-mediated hemolytic uremic syndrome. *Pediatr Int.* 49:196-201, 2007
- Nozu K, Fu XJ, Nakanishi K, Yoshikawa N, Kaito H, Kanda K, Krol RP, Miyashita R, Kamitsuji H, Kanda S, Hayashi Y, Satomura K, Shimizu N, Iijima K, Matsuo M. Molecular analysis of patients with type III bartter syndrome: Picking up large heterozygous deletions with semiquantitative PCR. *Pediatr Research.* 62:1-6, 2007
- Fujita T, Nozu K, Iijima K, Kamioka I, Kaito H, Tanaka R, Nakanishi K, Matsuo M, Yoshikawa N. Long-term follow-up of juvenile acute nonproliferative glomerulitis (JANG). *Pediatr Nephrol.* 22-1957-1961, 2007
- Cattran DC, Alexopoulos E, Heering P, Hoyer PF, Johnston A, Meyrier A, Ponticelli C, Saito T, Choukroun G, Nachman P, Praga M, Yoshikawa N. Cyclosporin in idiopathic glomerular disease associated with the nephrotic syndrome: Workshop recommendations. *Kidney Int.* 72: 1429-1447, 2007
- Nozu K, Inagaki T, Fu XZ, Nozu Y, Kaito H, Kanda K, Sekine T, Igarashi I, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. Molecular analysis of digenic inheritance in Bartter syndrome with sensorineural deafness. *J Med Genetics*, In press
- Yata N, Nakanishi K, Shima Y, Togawa H, Obana M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N. Improved renal survival in Japanese children with IgA nephropathy. *Pediatr Nephrol*, in press
- Yoshikawa N, Nakanishi K, Ishikura K, Hataya H, Iijima K, Honda M. Combination therapy with mizofibine for severe childhood IgA nephropathy: A pilot study. *Pediatr Nephrol*, in press
- Ishikura K, Ikeda M, Hattori S, Yoshikawa N, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Yata N, Honda M. Effective and safe treatment with cyclosporine in nephritic children: a prospective, randomized, multicenter trial. *Kidney Int.* In press
- 吉川徳茂: 小児の IgA 腎症に対する EBM に基づいた治療は何か?. “EBM 小児疾患の治療 2007-2008” 五十嵐隆, 石井正浩, 滝田順子, 平岩幹男, 水口雅, 横田俊平, 横谷進, 渡辺とよ子編, pp400-404, 中外医学社, 東京, 2007
- 中西浩一, 吉川徳茂: 血尿, 蛋白尿を認める 14 歳男子中学生. “New 専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 5 腎臓疾患” 榎野博史編, pp114-124, 日本医事新報社, 東京, 2007
- 中西浩一, 吉川徳茂: PAX2. 腎と透析 62: 144-146, 東京医学社, 東京, 2007
- 吉川徳茂: IgA 腎症の治療ガイドー 小児. 腎と透析 62: 474-478, 東京医学社, 東京, 2007
- 吉川徳茂: 小児 IgA 腎症の治療—現状と今後の展望. 腎臓 29: 201-205, 東京医学社,

東京, 2007

吉川徳茂:エビデンスに基づいた小児 IgA 腎症の治療. 小児内科 39:913-916, 東京医学社, 東京, 2007

吉川徳茂:小児における慢性腎臓病対策と問題点. Mebio 24:88-89, メジカルビュー社, 東京, 2007

吉川徳茂:IgA 腎症のコントロールスタディ. 社団法人日本腎臓学会創立 50 周年記念誌 社団法人日本腎臓学会, 日本腎臓学会 50 周年記念事業委員会編, pp123-129, 社団法人日本腎臓学会, 日本腎臓学会 50 周年記念事業委員会, 東京, 2007

吉川徳茂:ネフローゼ症候群:小児. 腎不全治療マニュアル, 腎不全予防医学調査研究委員会編, pp169-181, 社団法人日本透析医会, 東京, 2007

(分担研究者:五十嵐隆)

Harita Y, Kurihara H, Kosako H, Tezuka T, Sekine T, Igarashi T, Hattori S: Phosphorylation of nephrin triggers Ca²⁺ signaling by recruitment and activation of phospholipase C- γ 1. J Biol Chem 284: 8951-8962, 2009

Kato M, Sanada M, Kato I, Sato Y, Takita J, Tkeuchi K, Miwa A, Cehn Y, Nakazaki K, Nomoto J, Asakura Y, Muto S, Tamura A, Iio M, Akatsuka Y, Hayashi Y, Mori H, Igarashi T, kurokawa M, Chiba S, Mori S, Ishikawa Y, Okamaoto K, Tobinai K, Nakagawa H, Nakahra T, Yoshino T, Kobayashi Y, Ogawa S: Frequent inactivation of A20 in B-cell lymphoma. Nature, 2009, 459: 712-716

Kato M, Takita J, Takahashi K, Mimaki M, Chen Y, Koh K, Ida K, Oka A, Mizuguchi M, Ogawa S, Igarashi T: Hepatoblastoma in a patient with Sotos syndrome. J Pediatr, 2009 155: 937-939

五十嵐隆:脱水症、p13-15、目で見る小児救急、五十嵐隆編、2009、文光堂、東京
五十嵐隆:溶血性尿毒症症候群、p114-115、目で見る小児救急、五十嵐隆編、2009、文光堂、東京

五十嵐隆:腎泌尿器・生殖器疾患、標準小児科学 第 7 版、p570-590, 内山 聖、

原 寿郎、高橋孝雄編集、2009、医学書院
Suzuki M, Vaisbich MH, Yamada H, Horita S, Li Y, Sekine T, Moriyama N, Igarashi T, Endo Y, Cardoso TP, de Sa LC, Koch VH, Seki G, Fujita T: Functional analysis of a novel missense NBC1 mutation and of other mutations causing proximal renal tubular acidosis. Pflugers Arch-Eur J Physiol, 2008 455: 583-593

Nozu K, Inagaki T, Fu XJ, Nozu Y, Kanda K, Sekine T, Igarashi T, Nakanishi N, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M: Molecular analysis of digenic inheritance in Bartter syndrome with sensorineural deafness. J Med Genet, 2008, 45: 182-186

Yanagisawa A, Namai Y, Sekine T, Igarashi T: Ischemic colitis as a complication in a patient with steroid-dependent nephrotic syndrome. Pediatr Nephrol, 2008, 23:655-657

Inatomi J, Yokoyama Y, Sekine T, Igarashi T: A case of cerebral salt-wasting syndrome associated with aseptic meningitis in an 8-year-old girl. Pediatr Nephrol, 2008 23:659-662

Chen Y, Takita J, Choi YM, Kato M, Ohira M, Sanada M, Wang L, Soda M, Kikuchi A, Igarashi T, Nakagawara A, Hayashi Y, Mano H, Ogawa S: Oncogenic mutations of ALK kinase in neuroblastoma. Nature, 2008, 455: 971-975

Harita Y, Kurihara H, Kosako H, Tezuka T, Sekine T, Igarashi T, Hattori S: Neph 1, a component of the kidney slit diaphragm, is tyrosine-phosphorylated by the Src family tyrosine kinase and modulates intracellular signaling by binding to Grbs. J Biol Chem, 2008, 283: 9177-9186

Saito H, Takahashi S, Nagata M, Tsuchiya T, Mugishima H, Yan K, Kondo Y, Matsuyama T, Sekine T, Igarashi T: Reevaluation of glomerular charge selective protein-sieving function. Pediatr Nephrol, 2008, 24: 609-612

五十嵐隆:Dent 病、Fanconi 症候群、腎疾

患・透析 最新の治療 2008-2010、飯野靖彦、榎野博史、秋澤忠男編集、2008、南江堂、東京

五十嵐隆：小児の輸液、今日の治療指針 2008、p988-990、山口徹、北原光夫、福井次矢総編集、2008、医学書院、東京

五十嵐隆：アンジオテンシン変換酵素阻害薬とアンジオテンシン II タイプ 1 受容体拮抗薬の胎児毒性 Annual Review 腎臓 2008、p189-192、御手洗哲也、東原英二、秋澤忠男、五十嵐隆、金井好克編集、2008、中外医学社、東京

三浦健一郎、五十嵐隆：Thrombotic microangiopathy (TTP/HUS) の治療はどのように行うのでしょうか？EBM 腎臓病の治療、p237-242、富野康日己監修、柏原直樹、南学正臣編集、2008、中外医学社、東京

Sekine T, Nozu K, Iyengar R, Fu XJ, Matsuo M, Tanaka R, Iijima K, Matsui E, Harita Y, Inatomi J, Igarashi T: *OCRL1* mutations in patients with Dent phenotype in Japan. *Pediatr Nephrol*, 2007, 22: 975-980

Saito M, Horikawa M, iwqamori Y, Mizuguchi M, Igarashi T, Fujiki Y, Iwamori M: Alterations in the molecular species of plasmalogen phospholipids and glycolipids due to peroxisomal dysfunction in Chinese hamster ovary-mutant Z65 cells by FABMS method. *J Chromato B*, 2007 852: 367-373

吉川徳茂、五十嵐隆、石倉健司、郭義胤、仲里仁史、亀井宏一、川村哲也、中村秀文、山本有佳里、中西浩一、佐古まゆみ、日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会小児：IgA 腎症治療ガイドライン 1.0 版 日本小児科学会雑誌 2007, 111(11), 1466-1472.

五十嵐隆：小児の慢性腎炎症候群、今日の治療指針 2007、p980-981、山口徹、北原光夫、福井次矢総編集、2007、医学書院、東京

五十嵐隆：腸管出血性大腸菌感染症の初期に抗生物質を投与すると溶血性尿毒症症候群の発症リスクは低下するか？EBM 小児疾患の治療、p427-430、五十嵐隆、石井正浩、滝田順子、平岩幹男、水口雅、横田俊平、横谷進、渡辺とよ子編集、2007、中外医学

社、東京

五十嵐隆：腎尿細管性アシドーシス、腎・泌尿器疾患診療マニュアル、p244-245、五十嵐隆、鈴木洋通、丸茂 健監修・編集、2007、日本医師会、東京

(分担研究者：本田雅敬)

Hamasaki Y, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ishikura K, Yata N, Kaneko T, Honda M: Cyclosporine and steroid therapy in children with steroid-resistant nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol* 2009, 24: 2177-2185

田村啓成、坂井智行、石倉健司、濱崎祐子、幡谷浩史、池田昌弘、緒方謙太郎、森川征彦、本田雅敬：乳児期早期に末期腎不全に至り、腎形成異常を呈した WT1 異常症の 1 例 日本小児科学会雑誌 2009, 113: 1422-1426

矢田菜穂子、本田雅敬：小児腎疾患に用いられる適応外使用医薬品の問題と対策 Annual Review 腎臓 2009 御手洗哲也、東原英二、秋澤忠男、五十嵐隆、金井好克編 2009: 210-21, 中外医学社、東京

Honda M: Peritoneal dialysis prescription suitable for children with anuria. *Peritoneal Dialysis* 2008, 28: 153-158

Kaku Y, Honda M: Standardized peritoneal equilibration test in Japanese children and the influence of long-term peritoneal dialysis. *Peritoneal Dialysis* 2008, 28: 150-152

Ishikura K, Ikeda M, Hamasaki Y, Hataya H, Nishimura G, Hiramoto R, Honda M: Nephrotic state as a risk factor for developing posterior reversible encephalopathy syndrome in paediatric patients with nephritic syndrome. *Nephrol Dial Transplant* 2008, 23: 2531-2536

Ishikura K, Ikeda M, Hattori S, Yoshikawa N, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Yata N, Honda M: Effective and safe treatment with cyclosporine in nephritic children:

A prospective, randomized multicenter trial. *Kidney Int* 2008, 73: 1167-1173
Chaichanamongkol V, Ikeda M, Ishikura K, Hamasaki Y, Hataya H, Satoh H, Asanuma H, Shisido S, Honda M: An infantile case of Hinman syndrome with severe acute renal failure. *Clin Exp Nephrol* 2008, 12: 309-311

本田雅敬: 小児腎臓病における薬の適応外使用とその解決策 *日本小児科学会雑誌* 2008, 112: 8-14

石倉健司, 濱崎祐子, 幡谷浩史, 本田雅敬: 小児腎疾患領域における Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome (PRES) *日本小児腎臓病学会雑誌* 2008, 21: 49-54

本田雅敬: 腎不全. “小児科学 第3版総編集” 大関武彦、近藤直実編集 2008: 1453-1459, 医学書院

本田雅敬: 腹膜透析. “血液浄化療法ハンドブック改訂第5版” 透析療法合同専門委員会企画・編集 2008: 90-102, 協同医書出版, 東京

本田雅敬: 小児腎臓病の食事. “腎臓病食品交換表第8版治療食の基準” 中尾俊之他編集 2008: 121-134, 医歯薬出版, 東京

本田雅敬: 小児腎疾患の適応外医薬品解消に向けての動きと教育 *日本小児臨床薬理学会雑誌* 2007, 20: 75-82

佐々木尚美, 本田雅敬: 小児期に末期腎不全に至った先天性異・低形成腎の発見契機と臨床症状 *日本小児科学会雑誌* 2007, 111: 1045-1051

中尾俊之, 佐中孜, 椿原美治, 服部元史, 本田雅敬, 水入苑生, 渡邊有三: 慢性腎臓病に対する食事療法基準 2007年版 *日本腎臓学会誌* 2007, 49: 871-878

本田雅敬: 腹膜透析. “血液浄化療法ハンドブック改訂第4版” 2007: 82-95, 協同医書出版社, 東京

本田雅敬: 長期腹膜透析患児の実態調査. “Annual Review 腎臓 2007” 2007: 219-224, 中外医学社, 東京

本田雅敬: 腎生検依頼書の書き方. “小児腎性検病理診断標準化への指針” 2007: 31-34, 東京医学社, 東京

(分担研究者: 飯島一誠)

Hamasaki Y, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ishikura K, Yata N, Kaneko T, Honda M; Japanese Study Group of Renal Disease. Cyclosporine and steroid therapy in children with steroid-resistant nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2009;24:2177-2185.

Nozu K, Iijima K, Nozu Y, Ikegami E, Imai T, Fu XJ, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M. A deep intronic mutation in the SLC12A3 gene leads to Gitelman syndrome. *Pediatr Res*. 2009;66:590-593.

Nozu K, Iijima K, Kawai K, Nozu Y, Nishida A, Takeshima Y, Fu XJ, Hashimura Y, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M. In vivo and in vitro splicing assay of SLC12A1 in an antenatal salt-losing tubulopathy patient with an intronic mutation. *Hum Genet*. 2009;126:533-538.

Kamei K, Ito S, Nozu K, Fujinaga S, Nakayama M, Sako M, Saito M, Yoneko M, Iijima K. Single dose of rituximab for refractory steroid-dependent nephrotic syndrome in children. *Pediatr Nephrol*. 2009;24:1321-1328.

Hashimura Y, Nozu K, Kanegane H, Miyawaki T, Hayakawa A, Yoshikawa N, Nakanishi K, Takemoto M, Iijima K, Matsuo M. Minimal change nephrotic syndrome associated with immune dysregulation, polyendocrinopathy, enteropathy, X-linked syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2009;24:1181-1186.

飯島一誠 (日本小児科学会教育委員会編集) ここまで来た注目の小児科臨床ガイド 難治性ネフローゼ症候群へのリツキシマブ療法 中山書店 2009:130-136

Nozu K, Przybyslaw Krol R, Ohtsuka Y, Nakanishi K, Yoshikawa N, Nozu Y, Kaito H, Kanda K, Hashimura Y, Hamasaki Y, Iijima K, Matsuo M. Detection of large

- deletion mutations in the COL4A5 gene of female Alport syndrome patients. *Pediatr Nephrol* 2008;23:2085-2090
- Krol RP, Nozu K, Nakanishi K, Iijima K, Takeshima Y, Fu XJ, Nozu Y, Kaito H, Kanda K, Matsuo M, Yoshikawa N. Somatic mosaicism for a mutation of the COL4A5 gene is a cause of mild phenotype male Alport syndrome. *Nephrol Dial Transplant* 2008;23:2525-2530
- Ishikura K, Ikeda M, Hattori S, Yoshikawa N, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Yata N, Honda M. Effective and safe treatment with cyclosporine in nephrotic children: a prospective, randomized multicenter trial. *Kidney Int* 2008;73:1167-1173
- Nozu K, Inagaki T, Fu XJ, Nozu Y, Kaito H, Kanda K, Sekine T, Igarashi T, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. Molecular analysis of digenic inheritance in Bartter syndrome with sensorineural deafness. *J Med Genet* 2008;45:182-186
- Nakayama M, Kamei K, Nozu K, Matsuoka K, Nakagawa A, Sako M, Iijima K. Rituximab for refractory focal segmental glomerulosclerosis. *Pediatric Nephrol* 2008;23:481-485
- Kitamura A, Tsukaguchi H, Maruyama K, Shono A, Iijima K, Kagami S, Doi T. Steroid-resistant nephrotic syndrome. *Kidney Int* 2008;74:1209-1215
- 亀井宏一, 飯島一誠: 血清cystatin-Cによる小児の腎機能評価. *Annual Review腎臓* 2008 P180-184
- 亀井宏一, 笠原克明, 寺町昌史, 中山真紀子, 鈴木輝明, 田中敏章, 飯島一誠: 日本人小児における血清シスタチンCの基準値と腎機能マーカーとしての有用性. *日本小児科学会雑誌*2007;111:1381-1387
- Nakamura T, Nozu K, Iijima K, Yoshikawa N, Moriya Y, Yamamori M, Kako A, Matsuo M, Sakurai A, Okamura N, Ishikawa T, Okumura K, Sakaeda T. Association of cumulative cyclosporine dose with its irreversible nephrotoxicity in Japanese patients with pediatric-onset autoimmune diseases. *Biol Pharm Bull* 30:2371-2375, 2007
- Nozu K, Fu XJ, Kaito H, Kanda K, Krol RP, Miyashita R, Kamitsuji, Kanda S, Yoshiki Hayashi Y, Satomura K, Shimizu N, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. Molecular analysis of patients with type III Bartter syndrome: picking up large heterozygous deletions with semi-quantitative PCR. *Pediatr Res* 2007;62:364-369
- Kamei K, Nakagawa A, Otsuka Y, Nakayama M, Kobayashi S, Matsuoka K, Iijima K. Chronic glomerulonephritis associated with IgG subclass deficiency. *Pediatr Nephrol* 2007;22:1229-1234
- Kitamura A, Tsukaguchi H, Hiramoto R, Shono A, Doi T, Kagami S, Iijima K. A familial childhood-onset relapsing nephrotic syndrome. *Kidney Int* 2007;71:946-951
- 飯島一誠: ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群に対する治療法は何が最も推奨されるのか? EBM小児疾患の治療. 中外医学社 2007: 409-412.
- (分担研究者: 中村秀文)
- H. Nakamura and S. Ono: Japanese Prospective. In: *Pediatric Drug Development: Concepts and Applications* (Eds: A. E. Mulberg, S. A. Silber and J. N. van den Anker). John Wiley & Sons, Inc. 2009 pp 153-164
- 中村秀文: アレルギー治療薬の小児適正使用に向けて 適応外使用解決に向けての学会・行政の取り組みと治験・臨床試験. *日本小児アレルギー学会誌* 2009 23(1): 91-96
- 森雅亮, 河島尚志, 中村秀文, 中川雅生, 楠田聡, 佐地勉, 堤裕幸, 横田俊平, 伊藤進, 重症RSウイルス感染症調査委員会: RSウイルス感染予防を必要とする小児に関する全国調査の解析. *日本小児科学会雑誌* 2009 113(6): 1046-1048

中村秀文：小児麻酔の新たな視点-成長と発達を視野に。薬物動態と薬力学。日本臨床麻酔学会誌 2009 29(7) : 789-796

松浦信夫(聖徳大学 児童学部児童学科), 竹内正弘, 雨宮伸, 杉原茂孝, 横田行史, 田中敏章, 中村秀文, 佐々木望, 大木由加志, 浦上達彦, 宮本茂樹, 菊池信行, 小林浩司, 堀川玲子, 菊池透：小児 2 型糖尿病に対するメトホルミン単独療法。糖尿病。2008 51(5) : 427-434

米子真記, 小村誠, 石川洋一, 土田尚, 榎田賢二, 中村秀文：WHO 小児のためのエッセンシャルメディシンについての日本の適応調査。日本小児臨床薬理学会雑誌 2008 21(1) : 108-113

中村秀文：国際共同治験の現状と問題点。小児科領域の現状と取り組み。臨床評価。2007 35 : 237-246

松浦信夫(聖徳大学 人文学部児童学科), 雨宮伸, 杉原茂孝, 横田行史, 田中敏章, 中村秀文：公的研究費による小児 2 型糖尿病に対するメトホルミンの臨床試験。日本小児科学会雑誌。2007 111(2) : 154

吉川徳茂, 五十嵐隆, 石倉健司, 郭義胤, 仲里仁史, 亀井宏一, 川村哲也, 中村秀文, 山本有佳里, 中西浩一, 佐古まゆみ, 日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会小児：IgA 腎症治療ガイドライン 1.0 版 日本小児科学会雑誌 2007, 111(11), 1466-1472

2. 学会発表

(研究代表者：吉川徳茂)

Togawa H, Nakanishi K, Shima Y, Sako M, Miyajima M, Nozu K, Iijima K, Yoshihara D, Nagao S, Yoshikawa N, Snail Is Involved in Epithelial-to-Mesenchymal Transition (EMT) in Cyst-Lining Epithelial, 42th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, USA, 2009

Coppo R, Tryanov S, Cattran D, Cook T, Feehally J, Roberts I, Amore A, Camilla R, Hogg R, Emma F, Yoshikawa N. Cells in PCK Rat, Does a New IgA Nephropathy Clinicopathological Classification Have the Same Value in Children as in Adults?

42th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, USA, 2009

Ishikura K, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Yata N, Ando T, Honda M. Cyclosporine Dependency in Children with Frequently Relapsing Nephrotic Syndrome, 42th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, USA, 2009

Kandai N, Iijima K, Kaito H, Hashimura Y, Ninchoji T, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M, A Deep Intronic Mutation in the SLC12A3 Gene Leads to Gitelman Syndrome, 42th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, USA, 2009

Kaito H, Kandai N, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M, Investigation of Molecular Background for Patients with Exercise-Induced Acute Renal Failure, 42th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, USA, 2009

吉川徳茂：会長講演「EBM 確立のための臨床研究」第 39 回日本腎臓学会西部学術大会, 和歌山, 2009

中西浩一, 吉川徳茂：教育講演「CAKUT」第 39 回日本腎臓病学会西部学術大会, 和歌山, 2009

中西浩一, 吉川徳茂：ワークショップ「IgA 腎症：小児科」第 39 回日本腎臓学会西部学術大会, 和歌山, 2009

Togawa. H, Nakanishi. K, Obana. M, Shima. Y, Miyajima. M, Nozu. K, Iijima. K, Nishi. K, Nagao. S, Takahashi. H, Yoshikawa. N, Epithelial-to-Mesenchymal Transition in Cyst-Lining Epithelial Cells in PCK Rat, Inherited Cystic Kidney Diseases II. 41th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia, USA, 2008

Ishikura K, Hattori H, Yoshikawa N, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Yata N, Honda M, 2Effective and Safe Treatment with Neoral in Children with

Frequently-Relapsing Nephrotic Syndrome: A Prospective, Multicenter Trial Glomerular Disorders II , 41th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia , USA, 2008

Kamei K, Iijima K, Honda M, Nakanishi K, Yoshikawa N, Long Term Prognosis of Severe Childhood IgA Nephropathy Showing Diffuse Mesangial Proliferation . Glomerular Disorders I, 41th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia , USA, 2008

Shima Y, Nakanishi K, Togawa H, Obana M, Nozu K, Tanaka R, Sasaki S, Iijima K, Yoshikawa N, Disappearance of Glomerular IgA Deposits in Severe Childhood IgA Nephropathy after 2-yr Combination/Prednisolone Therapy, Glomerular Disorders: New Insights into Pathophysiology, Treatment, 41th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia , USA, 2008

Kandai N, Krol P Rafal, Nakanishi K, Yoshikawa N, Kaito H, Kanda K, Hashimura Y, Iijima K, Matsuo M, Three Sporadic X-Linked Alport Syndrome Cases, Other Mendelian Syndromes , 41th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia , USA, 2008

吉川徳茂 : 教育講演 「腎疾患における臨床研究の進め方。」 第 51 回日本腎臓学会学術総会, 福岡, 2008

吉川徳茂 : ワークショップ「JSKDC: Japanese Study of Kidney Disease in Children」 第 38 回日本腎臓学会西部学術大会 2008. 9. 27 名古屋

Kamei K, Iijima K, Hattori S, Honda M, Nakanishi K, Yoshikawa N: Long term prognosis of severe childhood IgA nephropathy after combined therapy. The 14th Congress of the International Pediatric Nephrology Association, Budapst, Hungary, 2007

Nakanishi K, Ishikura K, Hataya H, Ikeda M, Iijima K, Honda M, Yoshikawa N: Combination therapy with mizoribine for severe childhood IgA nephropathy: A pilot study. The 14th Congress of the International Pediatric Nephrology Association, Budapst, Hungary, 2007

Shima Y, Nakanishi K, Togawa H, Obana M, Yoshikawa N: Membranous nephropathy associated with Graves' disease. The 14th Congress of the International Pediatric Nephrology Association, Budapst, Hungary, 2007

Kaito H, Nozu K, Kanda K, Nakanishi K, Yoshiya K, Iijima K, Yoshikawa N, Matsuo M: Genetic backgrounds in patients with exercise-induced acute renal failure. 40th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Francisco, USA, 2007

Togawa H, Nakanishi K, Sako Mayumi, Obana M, Shima Y, Miyajima M, Nishii K, Nagao S, Takahashi H, Yoshikawa N: Segment-specific E-cadherin and β -catenin expression in PCK rats. 40th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Francisco, USA, 2007

Nakanishi K, Ishikura K, Hataya H, Ikeda M, Iijima K, Honda M, Yoshikawa N, The Japanese pediatric IgA nephropathy treatment study group: Combination therapy with mizoribine for severe childhood IgA nephropathy: A pilot study. 40th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Francisco, USA, 2007

Kamei K, Iijima K, Hattori S, Honda M, Nakanishi K, Yoshikawa N: Long term prognosis of severe childhood IgA Nephropathy after combined therapy. 40th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Francisco, USA, 2007

Nozu K, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M: Molecular analysis of digenic inheritance in type IV Bartter syndrome phenotype. 40th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Francisco, USA, 2007

吉川徳茂 : シンポジウム 「IgA 腎症の治療」